

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	11901	科名	服飾研究科	単位	21単位
科目コード	000200	科目名	服装造形	授業期間	通年

担当教員(代表) : 相澤 雅美	共同担当者 :
------------------	---------

概要

- ・衣服製作の基本的な専門知識を学び、各アイテムの基本から応用まで製作の理論とテクニックを短期間で学ぶ。流行や市場調査から各自コンセプトを設定し、製作するアイテムのデザイン発想のプロセスを体験する。
- ・立体的な意味・知識を理解させ、基本アイテムのドレーピングテクニックと手順を実技演習により習得させる。

【授業計画】 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

服装造形 論	4単位	000200
服装造形 デザイン	2単位	000300
服装造形 パターンメイキング	4単位	000500
服装造形 ソーイング	7単位	000600
服装造形 ドレーピング	4単位	000800
1. 服装造形の基礎	5コマ(前期)	概説・用具・採寸・シルエット撮影
2. 縫製の基礎	7コマ(前期)	手縫い・ミシン縫い・ロックミシン縫い
3. パターン製作の基礎	10コマ(前期)	文化式成人女子原型・パターン操作法
4. 体型研究	11コマ(前期)	体型研究
5. スカート	20コマ(前期)	実物製作・レポート製作・着装発表会
6. 立体的な基礎	17コマ(前期)	スカート各種・胸ぐせダーツバリエーション(文化ヌードボディ使用)
7. ブラウス・シャツ	32コマ(前期)	実物製作・レポート製作・着装発表会
8. パンツ	24コマ(前期)	実物製作・レポート製作・着装発表会
9. 立体的なブラウス	11コマ(後期)	ブラウス・衿各種(文化ヌードボディ使用)
10. ジャケット(スーツ)	50コマ(後期)	実物製作・レポート製作・着装発表会
11. ワンピース	40コマ(後期)	実物製作・レポート製作・着装発表会
12. 立体的なジャケット	10コマ(後期)	三面構成のテーラードジャケット(工業用ボディ使用)
13. 自由研究	25コマ(後期)	実物製作又はレポート製作・プレゼンテーション発表

評価方法

- ・服装造形 論……S~C・F評価 筆記試験100%
- ・服装造形 デザイン……S~C・F評価 課題90%、授業態度10%
- ・服装造形 パターンメイキング……S~C・F評価 課題90%、授業態度10%
- ・服装造形 ソーイング……S~C・F評価 課題90%、授業態度10%
- ・服装造形 ドレーピング……S~C・F評価 実技試験60%、課題30%、授業態度10%

主要教材図書

文化ファッション大系 服飾造形講座 ①服装造形の基礎 ②スカート・パンツ ③ブラウス・ワンピース
④ジャケット・ベスト アパレル生産講座 ③立体的な基礎編 ⑤工業パターンメイキング

参考図書 gap COLLECTIONS ((株)ギャップジャパン)

その他資料 実物標本・参考標本・部分標本

授業の特徴と担当教員紹介 服作りの基礎から応用までを1年間で学ぶ

記載者氏名 相澤 雅美

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 11901	科名 服飾研究科	単 位	1単位
科目コード 005710	科目名 量産技術実習 I	授業期間	後期(集中)

担当教員(代表)：成田 邦子

共同担当者：宮澤 国博、佐藤 明彦、加藤 紀人
井戸川 倫也

【授業概要、到達目標・レベル設定】

シャツの製造実習(一人が全行程を賄う“丸縫い作業”)を通して、シャツ生産指示書(仕様書、指図書、工程分析表、作業標準書)の役割(生産時間の短縮や品質の均一化や作業者の安全等)について理解を深めることを目標とする。また、工業生産機器の取扱いと安全な基本操作についても学習し、限られた授業時間(納期：D)の中で、出来栄え(品質：Q)にバラツキが生じないよう、量産的な考え方の重要性も認識させる。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

I. ガイダンス・・・実習の目的と内容説明(授業日程、シャツ仕様)(1コマ)

II. 縫製準備・・・縫製前の裁断実習と縫製機器(ミシン)基本操作(1コマ)

- ①延反
- ②自動裁断機(CAM)による裁断
- ③工業用ミシンの基本操作

III. 基礎練習・・・縫製機器(ミシン・アイロン)の基本操作と縫製準備(3コマ)

- ①基礎練習(工業用本縫いミシン、縁かがり縫いミシン、アイロン、バキュームボード)
シャツの芯貼り、表裏識別シール貼り、個人仕分け
- ②部分縫い(直線・曲線縫い、短冊あき)
- ③特殊機器見学(自動玉縁縫機、すくい縫いミシン、電子根巻きボタンつけミシン
エッジコントロールシーマ)

IV. シャツ縫製・・・シャツ縫製実習(8コマ)

- ①部品工程(身頃づくり、衿づくり、袖づくり等)
- ②組み立て工程(衿付け、袖付け等)
- ③特殊ミシン(眠り穴かがりミシン、オートフィーダー付きボタンつけミシン)

【評価方法】

出席状況(40%) 作品の出来栄え(60%)

主要教材図書

「工業用ミシン・アイロンの基本操作と知識」

参考図書

なし

その他資料

「シャツ生産指示書」

授業の特徴と担当教員紹介

工業生産機器が充実している生産実習室にて、ミシン、アイロン、特殊機器の使用方法をシャツ縫製実習を通して学び、工業生産の理解を深める。

担当教員紹介

文化服装学院 専任教授

記載者氏名 成田 邦子

科コード 11901	科名 服飾研究科	単 位	2
科目コード 400210	科目名 服飾デザイン論	授業期間	通年

担当教員(代表)：天野豊久

共同担当者：

教育目標・レベル設定など

教育目標：服飾デザインにおける色彩、形態、コンポジション、ファッションイメージについての講義及び演習を通して知識と技術を身につけ、創造力、分析力を養うことを目標とする。

レベル設定：色彩、形態、コンポジション、ファッションイメージのセオリーについて理解した上で、テーマに沿ったビジュアル表現ができる力を有する。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- | | | | |
|---------------|--|--|----------------|
| 1. 服飾デザイン概論 | ① デザインとは | デザインとは何か
デザイン嗜好
「よい」デザイン | (講義および演習 6コマ) |
| 2. 色彩 | ① 色彩の基礎 | 色彩の体系／三属性とトーン | (講義および演習 10コマ) |
| | ② カラーコーディネーション | 色相を基準にしたカラーコーディネーション
トーンを基準にしたカラーコーディネーション
ファッションカラーコーディネーション
色彩構成(グラデーション/セパレーション) | |
| 3. 形態/コンポジション | ① 形態の構成要素 | 点、線、面 | (講義および演習 8コマ) |
| | ② シルエット | 直線的-曲線的/フィットルールズ | |
| | ③ コンポジション | ドミナント/セントラリティ
シンメトリー/アシンメトリー
リズム | |
| | ③ 形態の展開 | 幾何図形の展開/服飾デザインにおける展開 | |
| 4. ファッションイメージ | | | (講義および演習 2コマ) |
| 5. 服飾デザインの展開 | コンセプト、テーマの策定
アイデアとラフスケッチ
服飾デザインの提案 | | (講義および演習 4コマ) |

評価方法・対象・比重

S・A～C・F評価 評価基準：学業評価70% 授業姿勢30%

主要教材図書

文化ファッション体系 改訂版・服飾関連専門講座2『服飾デザイン』(文化服装学院編/文化出版局)

参考図書 特になし

その他資料 Color Chart, ベーシックカラー140

授業の特徴と担当教員紹介

カラーコンサルティングの経験をもとに、ファッションデザイン、コーディネーションにおいて計画的に行う色彩活用の技術や考え方、服飾デザインの基本から展開までを実践的に演習を中心とした授業を実施
天野豊久 東京造形大学造形学部美術学科卒 日本色彩学会会員

記載者書名欄 天野豊久

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	11901	科名	服飾研究科	単位	2 単位
科目コード	500810	科目名	ファッションデザイン画 I	授業期間	1 年

担当教員(代表) : 金谷 容子	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッションデザイン画は、人体プロポーションをはじめ、ポーズと衣服の関連、デザイン構造を明確に描く事が出来るよう指導に努める。

基礎技法を中心に学生個人の感性を尊重しファッションデザイン画を表現する事を目標とする。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

前期

1. 基準プロポーションの習得【2コマ】 8頭身プロポーション実技演習
2. ポーズ・身体の動きをつかむ【2コマ】 (参考資料を基に正面・側面などのポーズを描く)
必要ポイントの把握①フロントネックポイント ②重心線 ③正中線 ④肩と腰の傾斜 ⑤支脚と遊脚
3. 顔・手・脚のポーズ【1コマ】
4. 着装表現【2コマ】 身体の動きと衣服の構造の研究 (しわ 陰影 衣服の構造線の描き方)
5. アウトライン【2コマ】 仕上げ線の研究
① ドローイングペン ②色鉛筆による強弱
6. 製品図【3コマ】 アイテム図・衣服の構造を正しく描く (フロントスタイル&バックスタイル)
ブラウス、シャツ、スカート各種、パンツ、テーラードジャケット

後期

7. 肌の色【1コマ】 水彩絵の具の習得
8. 素材の練習【4コマ】
特徴のある素材表現、透明感、光沢感、凹凸感など
9. デザイン発想【3コマ】 創作デザインと表現力の強化
各自デザインテーマを定め創意工夫のあるデザイン
10. 修了制作 イラストボード【5コマ】 1年間の集大成となるファッションデザイン画
A3サイズイラストボード使用
11. まとめ【1コマ】

【評価方法】

提出課題 50% 学年末試験 30% 出席状況 20% 英字評価 S・A・B・C・F

主要教材図書 文化ファッション大系服飾関連専門講座④ファッションデザイン画、補助プリント

参考図書 ファッション雑誌・インターネット保存画像

その他資料 B4サイズレイアウトパッド・画用紙・水彩絵の具セット・色鉛筆・マーカー・パステル

授業の特徴と担当教員紹介 ファッションデザイン画の基本技術の習得をします。
文化服装学院のファッションデザイン画ベテラン講師が担当します。

記載者氏名 金谷 容子

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 11901	科名 服飾研究科	単 位	2単位
科目コード 400400	科目名 西洋服装史	授業期間	半期（前期）

担当教員(代表)：朝日 真

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

古代から近世 18 世紀までは、その時代背景を踏まえ美術史や映画によって服飾を解説していく。19 世紀近代以降は、パリオートクチュール・ビジネスが確立し、ファッションが産業化していく過程を解説する。20 世紀以降、デザイナーの時代が始まり、合わせてデザイン史、音楽史、映画史などにも触れながら、多方面からファッション史の理解を深める。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

コマ	内 容	コマ	内 容
1	オリエンテーション	16	
2	古代の服飾	17	
3	中世の服飾	18	
4	ルネサンスとバロックの服飾①	19	
5	バロックの服飾②ロココの服飾①	20	
6	ロココの服飾②	21	
7	第一帝政、王政復古時代の服飾	22	
8	第二帝政時代の服飾	23	
9	第三共和制時代から1900年代のファッション	24	
10	1910年代～1920年代のファッション	25	
11	1930年代～1940年代のファッション	26	
12	1950年代～1960年代のファッション	27	
13	1970年代～1980年代のファッション	28	
14	1990年代～2000年代のファッション	29	
15		30	

【評価方法】

レポート提出 (50%)、出欠、授業態度 (50%)

主要教材図書

文化ファッション大系「西洋服装史」

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

学生がデザイン発想するために役立つ授業展開を心がけている。メンズとストリートファッションに特に興味がある。

専門／近現代西洋服飾史、ファッション文化論

研究論文：『近世以降における若者の反抗行動とファッション』『男子服における衿の変遷と考察』。雑誌『装苑』（文化出版局）ほか、ファッション誌へ多数寄稿。書籍『20世紀ファッション』（グラフィック社、2012年9月）を共同監修。

記載者氏名 朝日 真

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 11901	科名 服飾研究科	単 位	1単位
科目コード 600110	科目名 ファッションビジネス概論 I	授業期間	前期

担当教員(代表) : 澤住 倫子	共同担当者 :
------------------	---------

概要 (教育目標・レベル設定など 200 字程度) (職業実践専門課程認定要件に基づき HP 上で公開します)

- ・ファッションビジネスの基礎知識の理解
- ・ファッション産業構造の把握と専門業務の把握による職種選択のための対応

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

I. ファッションとビジネス (2コマ)

1. オリエンテーション 衣服とファッションの関係
2. ファッションの範囲と流行の把握

II. ファッションビジネスの特性 (4コマ)

1. ファッションの構成メンバー ファッション企業の分類
2. ファッションビジネスの変遷 戦後の社会経済とファッション消費の変遷
現代のキーワード
3. 現代のファッションキーワード

III. ファッション産業の構造 (3コマ)

1. テキスタイル産業の構造 テキスタイル業界と産地
2. アパレル産業の構造について アパレル業界とアパレルメーカー
3. 小売業の構造について リテール業界と新業態

IV. ファッションビジネスの実務 (3コマ)

1. アパレル企業の業務と職種について
2. ファッション小売業の業務と職種 ファッション販売と顧客の購買行動
3. マーケティングの基礎知識

V. まとめ (2コマ)

1. ファッション産業今後の課題
2. 最新ファッションキーワード

※すべて講義

評価方法・対象・比重

テキスト提出 30% 出席 70%

主要教材図書 文化ファッション体系服飾関連専門講座 12 ファッションビジネス

参考図書 日経、織研新聞、繊維白書など

その他資料 教材専用プリント類

授業の特徴と担当教員紹介

ファッションビジネスの基礎知識の理解とファッション産業構造の把握、専門業務の把握。

記載者氏名 澤住 倫子

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	11901	科名	服飾研究科	単位	1単位
科目コード	400300	科目名	服装解剖学	授業期間	半期（後期）

担当教員（代表）：高見澤ふみ	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

人体の構造を骨格と筋を中心に解剖学的に理解させ、人体と衣服パターンとの関連を形態・機能面からとらえ、美的で機能的な衣服製作に発展させる。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
オリエンテーション（講義内容の説明）	講義	1
人体の計測（計測法とデータ活用）、人体の構成と衣服（骨格）	講義	1
障がい者衣料について	講義	1
人体の構成と衣服（全身骨格）	講義	1
人体の構成と衣服（頭部）	講義	1
人体の構成と衣服（脊柱と衣服パターン）	講義	1
人体の構成と衣服（胸郭の構成）	講義	1
人体の構成と衣服（乳房と前身頃）	講義	1
人体の構成と衣服（上肢帯）	講義	1
人体の構成と衣服（上肢帯と自由上肢骨）	講義	1
人体の構成と衣服（上肢帯と下肢帯の違い）	講義	1
機能性のある衣服（機能性大の袖）	講義	1
機能性のある衣服（上肢の運動と動態計測からの衣服）	実習	1
ボディ開発（子供ボディ、青年男女、50代、シニア）	講義	

【評価方法】

学業評価：ノート…40%、確認テスト…20%、プリント…20%、平常点…10% 授業姿勢：出欠状況…10%

主要教材図書	服装解剖学ノート（文化出版局）
参考図書	なし
その他資料	なし

授業の特徴：衣服を着用する土台となる人体の構造や機能を把握し、動きやすく着心地の良い服、体に合う衣服製作への応用を目指す。

担当教員紹介：文化女子大学（現文化学園大学）卒、文化・服装形態機能研究所副所長兼務
衣服製作に関わる計測などを専門とし、外部企業や他大学との共同研究やボディ・商品開発などを行う。2011年より障がい者衣料の研究を継続。NHK Eテレ「バリバラ」のバリアフリーファッションショーにも参加。（2015～17年）

記載者氏名	高見澤ふみ
-------	-------

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 11901	科名 服飾研究科	単位	1単位
科目コード 200310	科目名 アパレル素材論 I	授業期間	半期（前期、13コマ）

担当教員(代表)：山田とし子	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）
 繊維素材（各種繊維・糸・布地・染色加工）の種類・性質について基礎的な知識を習得させる。さらに繊維素材製品の展開などにも関連させ知識を深めることを教育の目標とする。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. 概論 (1 コマ) <講義>
 - ・ 布の成り立ち、繊維―糸―布のかかわりと特徴
2. 繊維 (3 コマ) <講義、実習>
 - ・ 繊維とは
 - ・ 繊維の種類と分類、成分と構造、性質
 - ・ 織度と繊維長
 - *実習 ・ 繊維の鑑別（顕微鏡法、呈色法） ・ 耐薬品性
3. 糸 (3 コマ) <講義、実習>
 - ・ 繊維から糸製造
 - ・ 糸の種類と構造、性質
 - ・ 糸の太さと表示
 - *実習 ・ 糸の構造と太さ（スパンヤーンとフィラメントヤーン） ・ 毛紡績の分類（梳毛と紡毛）
 - ・ 撚り数（甘撚糸～強撚糸）と布地
4. 布地 (5 コマ) <講義、実習>
 - ・ 織物、編地、レースなどの種類と性質
 - ・ 繊維別布地解説
 - ・ 先染め、後染めの種類と効果
 - ・ 風合い表現
 - *実習 ・ 織、編地の分類 ・ 組織の理解（三原組織ほか）
 - ・ 先染と後染の区別と色柄効果
5. 加工 (1 コマ) <講義>
 - ・ 加工の目的と種類
6. 試験 (1コマ)
 - ・ 授業時間を使用してのペーパーテスト実施

評価方法：前期末試験、課題提出物を基本評価とするが授業状況を加減した総合評価

主要教材図書：文化ファッション大系改訂版・服飾関連専門講座③「アパレル素材論」文化服装学院編文化出版局

参考図書：「ワークブッカーアパレル素材論」文化服装学院教科書出版部

その他資料：「テキスタイルファブリック」文化学園事業局

授業の特徴と担当教員紹介
 アパレル素材の種類と性質を繊維・糸・布（織・編など）から系統立てて解説。
 また、演習なども含め、より実践的な理解につなげる。
 担当教員は大学において素材の専門を学び学会での研修などに参加 また産地や機屋、工場に出向き現状を視察。

記載者氏名 山田とし子

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 11901	科名 服飾研究科	単 位	1単位
科目コード 400100	科目名 アパレル品質論	授業期間	後期 ()

担当教員(代表)：田村亜由美

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

テキスタイルやアパレルの品質評価試験、品質基準、洗濯等の取扱い方法や製品の品質表示、関連する法規制や規格などについて講義、演習、実習を通して学び、法令順守の上、実用性能・要求品質を満たしたアパレルの企画・製造・販売ができることを目的とする。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. アパレルと品質管理	講義1コマ
<ul style="list-style-type: none"> アパレルに求められる品質と製造工程別管理 	
2. 品質評価試験(実用試験)と評価	講義・演習3コマ
<ul style="list-style-type: none"> 品質評価試験の種類および品質基準 染色堅ろう度試験 寸法変化率試験 	
3. アパレルの品質表示と法規制	講義4コマ
<ul style="list-style-type: none"> 家庭用品品質表示法 繊維製品表示規程 雑貨工業品表示規程 関連する法規制 不当景品類不当表示防止法 安全性にかかわる法や規制 製造物責任法 等 	
4. アパレルの取り扱い	講義・実習4コマ
<ul style="list-style-type: none"> 耐洗濯性 家庭洗濯 商業洗濯 ウェットクリーニングとドライクリーニング 保管 耐薬品性(しみ抜き実験) 	
5. アパレルの保証と製品事故の種類と原因・対策	講義1コマ
<ul style="list-style-type: none"> 商品の保証と製品事故の種類と原因・対策 	
	計：13コマ

【評価方法】

授業姿勢100%(出欠状況、授業課題提出状況など)の総合評価

授業の特徴と担当教員紹介

一般財団法人ニッセンケン品質評価センター 東京事業所 コンサルティンググループ 田村亜由美

主要教材図書 ファッション大系改訂版 服飾関連専門紺座①「アパレル品質論」 文化出版局発行

参考図書

その他資料

記載者氏名 田村亜由美

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	11901	科名	服飾研究科	単位	1単位
科目コード	400900	科目名	生産管理概論	授業期間	後期

担当教員(代表)：佐藤 明彦

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

アパレル産業界における分業について、作品と製品の違いといったアパレル生産に関する基本的な知識の習得を目的とする。縫製工場とアパレルメーカーの双方から生産活動を学ぶことにより製品が仕上がるまでのプロセスを学習する。また、生産指示書類（縫製仕様書や工程分析表等）の作成を通じてQ（品質）C（原価）D（納期）の実現についての理解を深める。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

I. ガイダンス (1コマ)

- ①受講に関する注意事項（出席、評価方法 等）

II. 生産指示書 (4コマ)

- ①加工・裁断・芯貼り指図書
- ②縫製仕様書

III. 工程分析表 (3コマ)

- ①工程とは
- ②工程分析表の書き方と作成演習

IV. アパレル製品の製造品質 (1コマ)

- ①品質の種類

V. 品質のつくり込み (1コマ)

- ①標準化への取り組み

VI. 製造責任 (1コマ)

- ①PL法（製造物責任法）

VII. 製造原価 (1コマ)

- ①原価のあらまし

VIII. 授業の総括・試験対策 (1コマ)

- ①授業のまとめと試験範囲のポイントについて

【評価方法】

出席率（30%）＋提出物（30%）＋筆記試験（40%）

主要教材図書 「文化ファッション大系⑦アパレル生産管理」 「工業用ミシンとアイロンの基本操作と知識」

参考図書 なし

その他資料 プリント配布

授業の特徴

授業内容は工業生産に必須の「しくみ」を学ぶことが中心である。授業をきっかけにアパレル生産全般の実務を“人、材料、機器設備、情報の織り成すしくみ”という視点で学ぶのが授業の特徴である。

担当教員紹介

文化服装学院 専任講師

記載者氏名 佐藤 明彦

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 11901	科名 服飾研究科	単 位	1単位
科目コード 910300	科目名 服飾手芸 選択科目	授業期間	後期(半期)

担当教員(代表) : 毎熊舞	共同担当者 : 久保田桂子
----------------	---------------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

服飾手芸全般における装飾技法の基礎知識及び技術を身に付け、様々な素材の扱い方からテクニック・色・技術の組み合わせによってクリエイティブな力を養うことを目標とする。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. 手芸一般知識(0.5)

手芸の変遷や技術の種類などを理解させる

2. レース表現 マクラメレース 基礎作品1点制作(1.5)

結び表現のみで効果を出すマクラメレースの基礎テクニックを理解し、応用発展できるようにする

3. 装飾造形表現 ネックレス製作 作品1点制作(2)

様々なパーツと糸のみで透かし模様を表現するテクニックと基本的な金具の使用

4. 加飾美表現 エンブroidアリー基礎 基礎刺し1点(5)

エンブroidアリーの基礎テクニックを習得させる

5. レリーフ・ライク表現 スモッキング・ピンキング・シャーリング 基礎刺し製作2点(3)

一枚の布を縫い縮めて変化させて装飾効果を表現するテクニックを習得させる

6. 装飾造形表現 アートフラワー 作品製作2点(2)

アートフラワーの基本的な知識を用いて服のデザインポイントになる装飾効果とテクニックを習得させる。

【評価方法】

S～C・F評価

評価基準：学業評価80% 授業姿勢20%

主要教材図書

教科書：文化ファッション大系 服飾関連専門講座⑧手芸 文化服装学院編 文化出版局

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

本校を卒業した服の知識や制作過程を理解した教員による服飾に特化した装飾手芸技術の歴史、知識および技術の習得を行います。

記載者氏名 久保田桂子

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 11901	科名 服飾研究科	単 位	1 単位
科目コード 911400	科目名 CAD基礎 選択科目	授業期間	後期

担当教員(代表) : 井戸川 倫也	共同担当者 :
-------------------	---------

科目概要
 アパレル産業における設計プロセスを認識し、アパレルCADを利用した設計方法を身につけることを目標とする。平面作図に始まり、パターン展開、マーキングと流れ、作成したデータを活用しレポート作成をおこなう。多数のコマンドで構成されるCADシステムの中から、最小限の機能を活用し、最大の効果が得られる基礎的なレベル設定とする。
 受講条件は、服飾専攻科 技術専攻とオートクチュール専攻の進学希望者以外とする。

授業概要
 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

I. ガイダンス (1コマ)

II. CAD基本操作 (4コマ)

- ①. 原型作図 (直線作成、曲線作成、移動、コピー、不要線の削除 等)
- ②. スカート (タイトスカート→フレアスカート) (線の引き直し、切り開き、地の目作成 等)

III. CAD応用操作 (3コマ)

- ①. シャツのパターンメイキング
- ②. 衿、袖、カフス、短冊の作図

IV. 工業用パターン作成 (1コマ)

- ①. シャツの工業用パターンメイキング (パーツ化、縫い代つけ、パーツ情報の設定 等)

V. 理解度の確認 (2コマ)

- ①. 操作の復習
- ②. 理解度確認テスト

VI. マーキングとパターン入力 (1コマ)

- ①. マーカーの概要
- ②. スキャナ使用方法
- ③. パターントレース

VII. 資料作成 (2コマ)

- ①. レポート作成 (平面作図・トレース)
- ②. レポート作成 (縫い代つきパターンメイキング)
- ③. レポート仕上げ

評価方法・対象・比重
 出欠席 (40%) + 提出データ (30%) + 小テスト<実技> (30%)

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 適宜プリント配布

授業の特徴と担当教員紹介
 アパレルCADの基礎オペレーションが体得できる。担当教員は文化服装学院専任講師。

記載者氏名 井戸川 倫也

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 11901	科名 服飾研究科	単 位	1 単位
科目コード 980010	科目名 特別講義 I	授業期間	通年

担当教員(代表) : 相澤 雅美

共同担当者 :

概要

就職に関する講義や広い視野におけるファッション産業界の知識、また服装造形分野での特殊素材に関する知識や製作技術などを、それぞれの専門分野の講師による解説・指導により将来に役立てる。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. 就職対策	1コマ (前期)	履歴書・エントリーシートのかき方
2. 就職対策	1コマ (前期)	模擬面接
3. 裏地の知識	1コマ (前期)	ベンベルグ裏地について
4. ファッション業界の仕事	2コマ (前期)	ファッション業界の仕事・パタンナーの仕事
5. ファッション情報	1コマ (前期)	トレンド解説 パリ・ミラノ・東京
6. ファッション業界の仕事	1コマ (前期)	編集の仕事について
7. 毛皮の一般知識	1コマ (前期)	毛皮一般知識
8. 皮革の一般知識	1コマ (前期)	皮革一般知識
9. 下着の一般知識	1コマ (後期)	ワコール下着セミナー
10. 研修旅行予備講話	1コマ (後期)	研修旅行の予備知識として
11. デザイナーの仕事	1コマ (後期)	仕事内容・実務の解説
12. ファッション情報	1コマ (後期)	トレンド解説 パリ・ミラノ・東京
13. ニットの一般知識	2コマ (後期)	ニットの商品知識

評価方法

履修認定 評価基準: 出欠状況、学業姿勢

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 プリント

授業の特徴と担当教員紹介

それぞれの専門分野の講師による解説・指導により将来に役立てられる内容を組み立てている。

記載者氏名 相澤 雅美

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード` 11901	科名 服飾研究科	単 位	1 単位
科目コード` 930010	科目名 校外研修 I	授業期間	通年

担当教員(代表) : 相澤 雅美

共同担当者 :

概要

文化的な知識・教養および感性を高めるために、美術展見学・伝統芸能鑑賞などによって視野を広め、またクラス内の親睦・融和と人間性を高める。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. 展覧会・美術展見学
2. 能鑑賞
3. 歌舞伎鑑賞

評価方法

履修認定 評価基準: 出欠状況

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 プリント・パンフレット

授業の特徴と担当教員紹介

- ・年度内に行われるファッションに関する展示やデザイン発想に関する展示を鑑賞する。
- ・歌舞伎や能を鑑賞し伝統芸能を学ぶ。

記載者氏名 相澤 雅美

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード` 11901	科 名 服飾研究科	単 位	1 単位
科目コード` 947100	科目名 コラボレーション a (自由選択)	授業期間	通年

担当教員(代表) : 相澤 雅美

共同担当者 :

【科目概要、到達目標・レベル設定】

コラボレーションを通して、企業との連携を深め、社会貢献することを学ぶ。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

その年度の実施内容による。

評価方法

履修認定・・・P評価

評価基準・・・学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介 その年度の実施内容により決定する。

記載者氏名 相澤 雅美

2020年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード` 11901	科 名 服飾研究科	単 位	4 単位
科目コード` 970000	科目名 卒業研究・創作	授業期間	後期

担当教員(代表) : 相澤 雅美

共同担当者 :

概要

- ・一年間で習得した知識・技術の集大成として、フォーマルウェアからニューフォーマルウェアまで個性を活かした作品を製作させる。併せてTPOをふまえたコーディネートも研究させる。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

卒業制作 60コマ (後期) 実物製作・レポート製作・卒業制作ショー (準備も含む)

評価方法

S~C・F評価 評価基準 : 学業評価90%、授業姿勢10%

主要教材図書

文化ファッション大系 服飾造形講座 ⑤コート・ケープ ⑥服飾造形応用編 I (高級素材)

参考図書 gap COLLECTIONS ((株)ギャップジャパン)

その他資料 実物標本・参考標本・部分標本

授業の特徴と担当教員紹介

1年間の集大成としてフォーマルウェアを製作し、トータルコーディネートを考案ショーを行う。

記載者氏名 相澤 雅美